

プログラム名		森の妖精の贈り物を探そう							
対象年齢		年中・年長（４～６歳）							
ねらい	メッセージ	自然の中で相手を思いやりながら共に過ごす大切さに気づこう							
	発見・体験できること	・ 林や森の中の暗さ、湿気、土、においなど ・ 竹の感触 ・ 落ち葉の下での自然物の発見							
参加者のめやす		幼児 ３０人 / 支援者 ２人							
実施時間		３０分							
フィールド									
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園		
実施可能時期									
自然を感じるためのヒント									
時 間		活 動				●配慮・アドバイス アレンジ			
準備		森の妖精からの手紙				● 当日までに、森の妖精から森の誘いの手紙が来ていると子どもたちに伝えておきます。 ● 妖精の手紙は、葉っぱなどで自然素材を活かして作ります。			
１０分		あそびの説明を聞く ひもをはる ・ ５歳児が竹から竹へひもをはる ・ ４歳児は支援者と一緒にする				● 竹や木の枝などでけがをしないよう注意して活動するように伝えます。 高い場所や低い場所にひもを張り巡らしてみましよう。 ● ４歳児は決められた範囲で支援者と一緒に行動しましょう。 			

時 間	活 動	●配慮・アドバイス アレンジ
15分	森の妖精の贈り物探し ・4・5歳児がペアになる ・スタート ・はりめぐらしたひもをくぐったり、またいだりしながらゴール地点まで行く ・竹を登り、森の妖精の贈り物をもろう ふりかえり ・発見したことを共有する ・あとかたづけ	●ペアが協力しあって行動できるように伝えます。  ●天候によって贈り物の高さを変えましょう。  ●森の妖精の贈り物は自然の中のものを妖精からの贈り物として、準備します。 ●子どもたちの発見を話したり、自然についての話をしたりしましょう。 ●土に還るゴミと還らないゴミの違いを伝えながら一緒に片づけます。
【異年齢への対応】 年少：コースができた状態で、贈り物は支援者が渡します。		
【園や家庭に帰ってから】 生活の中で、再利用できるゴミを使う機会を作るように促します。 園では、ひもではなくゴムを使ってコースを作り、ゴム飛びなどに発展させてみましょう。		
準備物・教材等	・タフロープ（白2、黄6） ・森の妖精からの手紙（葉っぱなど自然の素材を活かす） ・はさみ ・ビニール袋 ・和紙に包んだ森の妖精からの贈り物（どんぐりとひまわりの種）二人に一つ・	

